

義 18. ~しか/~だけ 義

1. つぎの会話の () に、「しか」または「だけ」のどちらかを書きましょう。

①妻：お米つま買うの、すっかりわすれてた！ 今晚こんばん、これ () ないわ。

夫おっと：いいよ。これ () あれば、ごはん一杯ばいずつは、食べられるだろう。

②男：おれには、きみ () いないんだよ。お願いねがだから、出て行かないでくれ！

女：男は、あなた () じゃないわ。さようなら。

③妹：ええ！ 私のぶん、これ () ？

姉：そうよ。あなた、ダイエット中でしょう。

④明子：由美ゆみ、いいこと教えてあげようか。私 () 知らないことなんだ。

由美：ええ！ なになに？ 教えて！

明子：だれにも、言わない？ じゃ、由美に () 教えてあげる。

2. つぎの () に「しか」または「だけ」のどちらかを書きましょう。

①「~ () ある/あります。」

②「~ () ない/ありません。」

3. つぎの文を読んで、{ } から適当てきとうなほうをえらえらびましょう。

_____ ゴン太たのひみつ _____

ぼくの名前はゴン太。犬なんだ。ぼくのご主人さまは、田中家けのお父さんとお母さん。お父さんは会社員で、給料きゅうりょう日にはいつも、もらった給料をお母さんに全部ぜんぶわたしている。

実はじつぼく、人間のことばがわかるんだ。でも、だれもそんなこと知らない。もちろん、ぼくの犬友だちも知らないんだ。



朝のさんぽはお母さん、夕方のさんぽはお父さんの仕事なんだ。お父さんはさんぽのとき、よく一人で話している。きのうもまた「ああ、お母さんもう少しお金くれないかなあ。月に2万円じゃ、たばこも1週間に1箱ひとはこしか買えないし…ああ…」と、言っていた。

でもぼくは、お母さんの気持ちもわかるんだ。お母さんは朝のさんぽのとき、ぼくによく話しかける。もちろん、ぼくが人間のことばがわかっているかどうかは知らないと思うけど。今朝、お母さんはぼくに「ねえ、ゴン太。うちのお父さん、たばこやめないね。体のことしんぱい心配だし、やめてほしいのに。だから、かわいそうだとは思うけど、あげるお金は増ふやさないのでよ。月に2万円じゃ、お昼ごはんを使ってしまおうでしょ。ね、わかるでしょゴン太…」と、言っていた。ぼくはお母さんの気持ちがよくわかる。ぼくだって、お父さんに長く生きていてほしいから、たばこをやめてほしい。でもいつもさんぽの時、たばこを1本おいしそうにすうお父さんを見ていると、やめろとは言えない。

もし、ぼくが人間のことばを話せたらお父さんの気持ちをお母さんに、お母さんの気持ちをお父さんに言えるのに。ぼくは人間のことばはわかるけど、話せない。話そうとしても人間には「ワン、ワン、クウン、ワン！」としか聞こえないようだ。ざんねんだけど。

- ①ゴン太は、人間のことばを{聞くことだけできる／話すことしかできない}。
- ②お父さんは、2万円のおこづかいを{少ないと思っている／多いと思っている}。
- ③お母さんは、本当ほんとうはお父さんのおこづかいをあげることが{できる／できない}。
- ④ゴン太は、さんぽに1日{1回かい／2回}行く。
- ⑤ゴン太のことばは、{人間にはわからない／人間にしかわからない}。
- ⑥ゴン太のひみつは{ゴン太しか知らない／お母さんだけ知っている}。